

JOMF 派遣医師便り (2019. 11)

◆シンガポール◆

シンガポールの公立病院

シンガポール日本人会クリニック

日暮 浩実

シンガポールの公立病院は、すべて国立で、MOH ホールディングスという株式会社の傘下で3つの大きなグループに分けられ、このどれかに所属する形になっています。国立なのにすべて株式会社であるということがシンガポールらしいところだと思います。

すべての公立病院は、西暦2000年に2つのグループ、National Health Care Group と SingHealth Services に分けられました。その後、2008年にシンガポール大学病院を中核とする National University Health System が設立され、3つのグループとなりましたが、2011年には分割再編成が行われ、合計で6つのグループに分けられました。そして、2017年、さらなる再編により、新たに、現在の3つのグループ NUHS (National University Health System), NHG (National Healthcare Group), SingHealth (Singapore Health Services) になりました。それぞれに新しい施設が設立されるなどして、刷新された3グループとなりました。

これら3つのグループで島を3つにわけ、西部を NUHS、中央部を NHG、東部を SingHealth が管轄しています。

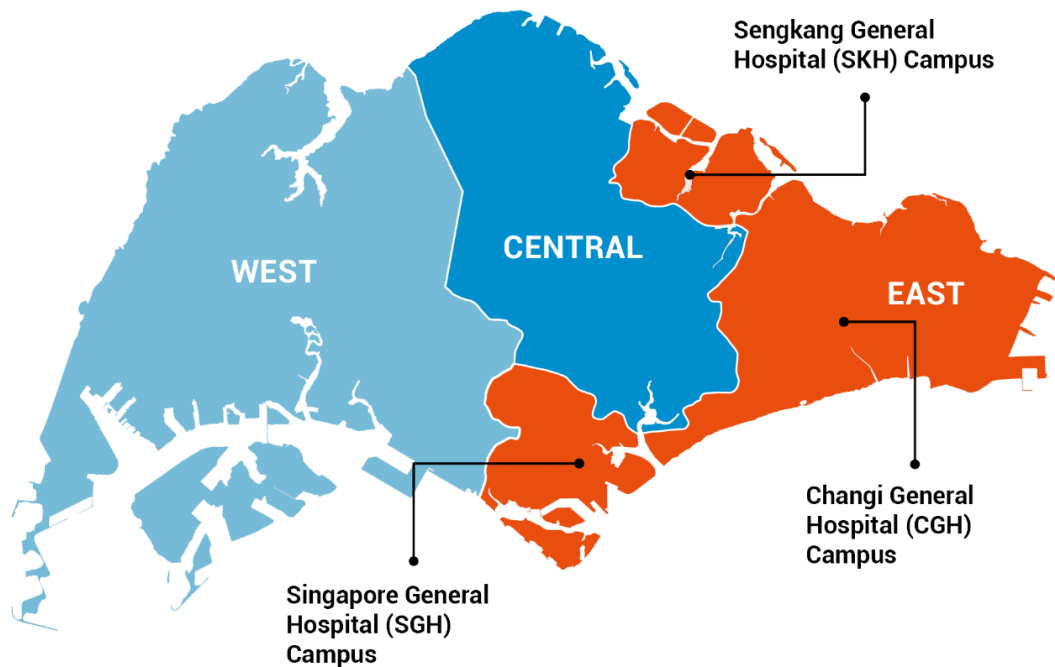


図1 WEST: NUHS, CENTRAL: NHG, EAST: SingHealth

島を3つに分けているといっても、患者さんは、国内のどこの病院にも分け隔てなく、受診することができます。ちなみにシンガポールは図1に示すように少し角のあるラグビーボール状の形の島国ですが、東西の幅は50 kmほどですので、全土が居住者にとって、アクセス可能圏内です。もちろん、利便性から、自身の居住地に近い医療施設を選ぶことは多いとは思われます。

それぞれのグループには中核となる General Hospital, Community Hospital, Specialty Center、polyclinic などがあり、階層構造をなしています。

NUHS に属する現在の中核病院は National University Hospital (NUH) (1985 年設立、1,289 床)、Ng Teng Fong General Hospital (2015 年、700 床) です。これら General Hospital は常に3次救急を行うことのできる総合病院です。National University Hospital は年に100万人をこえる患者さんに利用されています。

Community Hospital は、急性期を乗り越えた患者さんの受け入れ先として自宅に帰るまでの transitional 施設、リハビリ施設として位置づけられるもので Jurong Community hospital (2015 年、400 床) があります。この病院は Ng Teng Fong General Hospital でと空中廊下でつながっています。

また、この他にかつての中核病院であった Alexandra Hospital (1938 年、326 床) があります。

特別センターとしては日本のがんセンターにあたる NCIS (National University Cancer Institute, Singapore), 循環器病センターにあたる NUHCS (National University Heart Center, Singapore), 口腔に関する専門施設 NUCOHS (National University Center for Oral Health, Singapore) があります。

一般外来患者さんを取り扱う出先の外来クリニックとしては polyclinic がこの地域内に6か所散在していて、いわゆる総合医、家庭医がプライマリケアにあたっています。外来だけですが、簡単な検査は可能です。また、専門医のクリニックの集まりである Jurong Medical Center (2006 年) もあります。

このほかに教育、研究施設として NUS Yong Loo Lin School of Medicine (1905 年), NUS Alice Lee Center for Nursing Studies, NUS Saw Swee Hock School of Public Health, NUS Faculty of Dentistry があります。

世界的にも評価の高いシンガポール国立大学があるだけに研究、教育も盛んです。

中央部を管轄する NHG には総合病院として Tan Tock Seng Hospital (1844 年、1,500 床) があります。昨年までシンガポールの感染症疾患の中心施設であった Communicable Disease Center (CDC) が属していましたが、CDC は 2019 年、Tan Tock Seng Hospital に隣接した National Center of Infectious Disease として生まれ変わりました。また、このグループには島の中央北部の中核病院として Khoo Teck Puat Hospital (2010 年、660 床)、および Community Hospital として Yishun Community Hospital (2015 年、430 床) があります。さらにシンガポールの精神科の中核病院として Institute of Mental Health (1928 年、2,000 床) があるのが特徴です。特別センターとしては National Skin Center があり、毎日 1,000 人の外来患者さんを診ています。外来の出先機関として 6 か所の Polyclinic があります。他には検査機関として NHG diagnostics があり、教育機関として医療を担うエリートを NHG college やプライマリケアを担う医師や看護師のスキルアップを図る Primary Care Academy があります。薬剤サービスを担う組織として NHG Pharmacy があります。また、がん治療を主目的にアメリカの Johns-Hopkins 大学と 20 年来関係を構築

してきましたが、2017年、NHG-Johns Hopkins Singapore Institute となり新たな国際的な研究、医療施設としてさらに発展を続けています。

島の東部、実際には中央部の南側も含んだ地域を統括するのは、SingHealth Services です。島の中央南部に総合病院としてシンガポール最大で最古の Singapore General Hospital (1821年、1,785床があり、NUH同様、年間100万人以上の患者さんを診療しています。さらに、これまたシンガポール最大の婦人科、小児科病院の KK Women's and Children's Hospital (1858年、830床)があります。さらに東部の中核病院として Changi General Hospital (1998年、1,000床)、北東部の中核病院として Sengkang General Hospital (2012年、1,000床)もある大きなグループです。Community Hospital としても3つ Brighton Vision Hospital (2001年、318床)、Outram Community Hospital (現在、一部のみ開院、2020年完成予定550床)、Sengkang Community Hospital (現在、一部のみ開院400床)があります。Polyclinic は7か所あります。特別施設としては Singapore National Eye Center, National Cancer Center Singapore, National Heart Center Singapore, National Dental Center Singapore, National Neuroscience Institute があります。

シンガポールは古くからある病院を適宜、改築、再編し、新しい施設も積極的に作り、これらを複数のグループに分けることによって、学問的にも経済的にもお互いを競わせるなど積極的な政策を展開しています。医療ツーリズムの振興と急速に高齢化するシンガポールに対処しようとしているのだと思います。